

「京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員記地再編成」 施策を検証し強固な分会組織をつくり出す緊急集会開催！



問題提起する
東京地本鳴海委員長

6月10日、京浜東北根岸線と横浜線の運転車掌の5職場が主催する「京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員基地再編成」施策を検証し強固な分会組織をつくり出す緊急集会を開催し、270名の仲間が結集しました。

昨年と今年のダイヤ改正を経て、京浜東北根岸線と横浜線の乗務員基地再編成施策が終わり、新たに乗務員基地が発足しました。しかし、会社が団体交渉で主張していた職場実態になっていないため、集会では各職場から職場実態を明らかにし、今後も施策の検証運動を全組合員で取り組むことを確認しました。これからも安全第一、輸送品質の向上をめざすとともに、働きがいのある職場環境を、連帯して創り出していきます。

また集会では、東京地本鳴海委員長から問題提起を受け、私たちの運動づくりが間違っていないことを確信すると同時に、事故や不祥事がなくJR東日本会社をさらに発展させていくためにも、連帯した運動づくりと分会の団結強化をめざしていくことを確認して緊急集会は終了しました。

安全で働きがいのある職場環境をめざし、 施策の検証運動と分会の団結を強化しよう！